

球磨村の新しい校舎づくり: 要望まとめ

1. 球磨村のシンボリックな校舎に

- **配置とシンボル性:** 職員室を真ん中に配置し、そこからグラウンドなどが見渡せるようにする。球磨村を象徴するようなモニュメントや、特徴的な校舎の形(丸い校舎など)を検討する。
- **環境:** 桜や紅葉など、庭園として四季を楽しめる環境づくり。

2. 学習・交流空間(図書室・ステージ・ピロティ)

- **図書室:** 全ての学年(1~9年生)が使いやすく、どのエリア(ステージ)からもアクセスしやすい大きな図書室。
- **ステージ(多目的空間):** 学年ごとの集会や他学年との交流ができる多目的なスペースを各ステージに配置する。吹き抜けのある明るいプレイルームや、職員室の気配が感じられる多目的室などが求められている。
- **ピロティ:** 雨の日でも活動できる多目的な屋外空間。

3. 生活と動線(ランチルーム・子どもの動線)

- **ランチルーム:** 景色が良く、全員が入れる大きなランチルーム。
- **動線:** 靴を履き替えずにプールへ行ける動線や、体育館への渡り廊下など、スムーズでコンパクトな移動経路の確保。

4. 快適性と安全(構造・避難・バリアフリー)

- **構造:** 戸締まりがしやすい仕組み、廊下の空調管理や空気の流れの配慮。
- **避難所:** 災害時の避難所としての機能も視野に入れた校舎づくり。
- **ユニバーサルデザイン:** 怪我をした子や車椅子の子も使いやすいバリアフリーな校舎。

5. 特別支援・その他

- **特別支援:** 支援学級の教室内にトイレやシャワーを設置することや、生徒がクールダウンできる専用の部屋の設置。
- **管理:** 各教科の備品を適切に管理できる倉庫(技能教科以外)の設置。